

■ごみ焼却施設の事例視察～2017年に稼働を開始した東京都武蔵野クリーンセンターを視察してきました（平成31年4月11日）。

同施設では4つのコンセプトに基づく整備が実施されています。ここでは現地を視察した中で道内実績ではあまりみられない印象に残った内容をご紹介します。

※文章は武蔵野市環境部クリーンセンター「新クリーンセンターニュース」を参考としております。

1 環境の保全に配慮した安全・安心な施設づくり。

- ・排ガスは国の基準値をはるかに下回る全国トップレベルの厳しい自主規制値を設定。最新の測定値は、LED電光掲示板やタッチパネル式ディスプレイで閲覧が可能です。



↑屋外のLED電光掲示板



タッチパネル式ディスプレイ



→見学コーナーにおけるタッチパネル式ディスプレイの配置

2 景観及び建築デザインに配慮した施設づくり

- ・2017年度グッドデザイン賞を受賞。建物には武蔵野の雑木林をイメージしたルーバーと壁面緑化が施されています。



ルーバーと壁面緑化



←建物外壁のルーバーと、2階の外回廊



↑見学者通路～天井からの自然光の取り入れ



↑見学者通路～写真左側の箱はプラットホームのぞき窓

3 災害に強い施設づくり

- ・災害時のスタート発電として**ガスコージエネレーション**を設置～都市ガスを使って圧縮・燃焼した高温ガスを発生させ、それをガスタービンに送り回転・発電し、その後の廃熱で蒸気を発生させる設備です。
- ・周辺の市役所、総合体育館、コミュニティセンターへエネルギーを供給できます。

4 開かれた施設づくり

- ・2階のフロアを一周することで、ごみ処理の流れがわかるよう工夫されています。
- ・屋外広場では、**マルシェ（市場）**などの**イベント**が日曜日等に開催されています。



↑見学者通路

←屋外広場（写真左側）。休日にイベント等を開催

（環境グループ担当；平野利明）

株式会社ホクスイ設計コンサル
〒060-0806

札幌市北区北6条西9丁目2番地

☎ 011-737-6232（本社／営業部）

FAX 011-708-5286

E-mail info@hokusui-p.com